

# 倉敷市（真備地区）・総社市地域 循環型社会形成推進地域計画

令和元年 11 月

令和2年 12 月（変更）

令和3年 1 月（変更）

令和3年 1 1 月（変更）

倉敷市（真備地区）

総 社 市

総社広域環境施設組合

# 目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	2
3	施策の内容	5
4	計画のフォローアップと事後評価	11
	<b>【添付書類】</b>	12
1.	対象地域図	13
2.	目標の設定に関するグラフ等	14
3.	現有処理施設の概要	16
4.	様式1 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表1	17
5.	様式2 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2	21
6.	様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	22
	<b>【その他参考資料】</b>	23
1.	参考様式1	24
2.	参考様式2	25
3.	参考様式7	26

# 倉敷市（真備地区）総社市循環型社会形成推進地域計画

## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町名 倉敷市（真備地区）及び総社市

面積 256.09 km<sup>2</sup>

人口 89,653 人（平成 31 年 3 月 31 日）

（内訳）

市町名	倉敷市（真備地区）	総社市
面積（km <sup>2</sup> ）	44.19 km <sup>2</sup>	211.90 km <sup>2</sup>
人口（人）	20,659	68,994

### (2) 計画期間

本計画は、令和元年 11 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの 6 年間を計画期間とする。ただし、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

倉敷市真備地区と総社市地域（以下「本地域」という。）は岡山県の南西部に位置しており、県庁所在地である岡山市と隣接している。

本地域のごみ処理については、旧真備町と総社市にて総社広域環境施設組合（以下「本組合」という。）を設立後、ごみの適正処理に取り組んでいる。

ごみ排出量及び 1 人 1 日当たり排出量は、倉敷市が減少傾向、総社市が微増傾向にある。今後においては、普及啓発・教育の充実を行うことで排出抑制・再生利用の促進に努めることにより、「環境最先端都市（倉敷市）」「地球環境にやさしい、持続可能な循環型社会の形成（総社市）」の実現を目指すものである。

### (4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

岡山県では県下全域にて「ごみ処理の広域化」が推進されている。本組合は「倉敷ブロック」に位置付けられているが、同ブロックにおいて倉敷市は真備地区以外にある水島清掃工場の延命化及び長期包括運営委託を令和 17 年 3 月まで実施中である。

また、吉備路クリーンセンター（本施設）と水島清掃工場を除く 2 施設を統合した新施設（倉敷市玉島地区）の建設についても計画中であることから、本地域における廃棄物処理については現状を継続するものであり、今後さらなる広域化による処理の拡大の予定はない。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

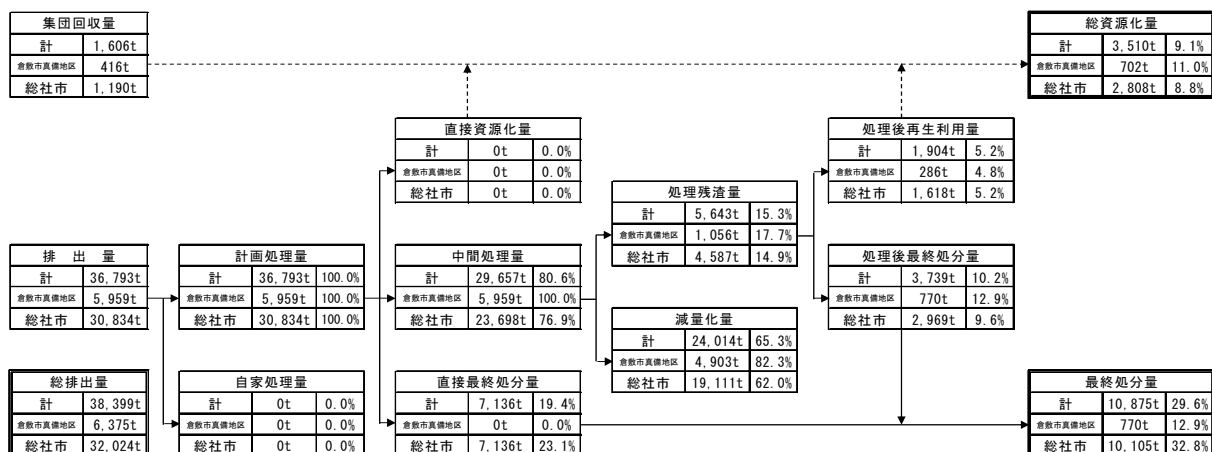
平成 30 年度の一般廃棄物の排出・処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は 38,399 t であり、再生利用される「総資源化量」は 3,510 t、リサイクル率は 9.1% である。

中間処理による減量化は 24,014 t であり、集団回収を除いた排出量の概ね 65% が減量化されている。また、集団回収を除いた排出量の約 30% にあたる 10,875 t が埋め立てられている。

中間処理の内、焼却量は 27,358 t である。焼却施設では蒸気タービンによる送風機、工場棟及び管理棟内給湯・冷暖房や隣接する多目的施設への給湯・冷暖房や温水プールへの熱源供給を行っている。

なお、平成 30 年度の実績値には「平成 30 年 7 月豪雨」による災害廃棄物が大量に搬入されたことから、それ以前の実績と比較して排出量や最終処分量は非常に多くなっており、再生利用量は減少している。



備考：総資源化量は総排出量に対する割合で、その他は排出量に対する割合である。

図 1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 30 年度）

## (2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標			現 状(割合※ <sup>1</sup> ) (平成30年度)	目 標(割合※ <sup>1</sup> ) (令和7年度)	
排 出 量	事業系	総排出量	倉敷市真備地区	1,915 トン	2,016 トン ( 5.3% )
			総社市	10,031 トン	9,394 トン ( -6.4% )
			合計	11,946 トン	11,410 トン ( -4.5% )
		1事業所当たりの排出量※ <sup>2</sup>	倉敷市真備地区	3.60 トン/事業所	4.06 トン/事業所 ( 12.8% )
			総社市	4.90 トン/事業所	4.64 トン/事業所 ( -5.3% )
			合計	4.63 トン/事業所	4.52 トン/事業所 ( -2.4% )
	生活系	総排出量	倉敷市真備地区	4,044 トン	4,414 トン ( 9.1% )
			総社市	20,803 トン	14,585 トン ( -29.9% )
			合計	24,847 トン	18,999 トン ( -23.5% )
		1人当たりの排出量※ <sup>3</sup>	倉敷市真備地区	196 kg/人	198 kg/人 ( 1.0% )
			総社市	302 kg/人	211 kg/人 ( -30.1% )
			合計	277 kg/人	208 kg/人 ( -24.9% )
合 計	事業系生活系排出量合計	倉敷市真備地区	5,959 トン	6,430 トン ( 7.9% )	
		総社市	30,834 トン	23,979 トン ( -22.2% )	
		合計	36,793 トン	30,409 トン ( -17.4% )	
再生利用量	直接資源化量	倉敷市真備地区	0 トン ( 0.0% )	0 トン ( 0.0% )	
		総社市	0 トン ( 0.0% )	0 トン ( 0.0% )	
		合計	0 トン ( 0.0% )	0 トン ( 0.0% )	
	総資源化量	倉敷市真備地区	702 トン ( 11.0% )	1,016 トン ( 14.3% )	
		総社市	2,808 トン ( 8.8% )	3,254 トン ( 12.8% )	
		合計	3,510 トン ( 9.1% )	4,270 トン ( 13.2% )	
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	発電量	621 MWh	565 MWh	
		熱利用量	10,975 GJ	10,622 GJ	
減量化量	中間処理による減量化量	倉敷市真備地区	4,903 トン ( 82.3% )	5,306 トン ( 82.5% )	
		総社市	19,111 トン ( 62.0% )	18,189 トン ( 75.9% )	
		合計	24,014 トン ( 65.3% )	23,495 トン ( 77.3% )	
最終処分量	埋立最終処分量	倉敷市真備地区	770 トン ( 12.9% )	772 トン ( 12.0% )	
		総社市	10,105 トン ( 32.8% )	3,924 トン ( 16.4% )	
		合計	10,875 トン ( 29.6% )	4,696 トン ( 15.4% )	

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合(総資源化量は集団回収も含めた総排出量に対する割合)

※2 (1事業所当たりの排出量)=[(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)]/(事業所数)

※3 (1人当たりの排出量)=[(生活系ごみの総排出量)-(生活系ごみの資源ごみ量)]/(人口)

《用語の定義》

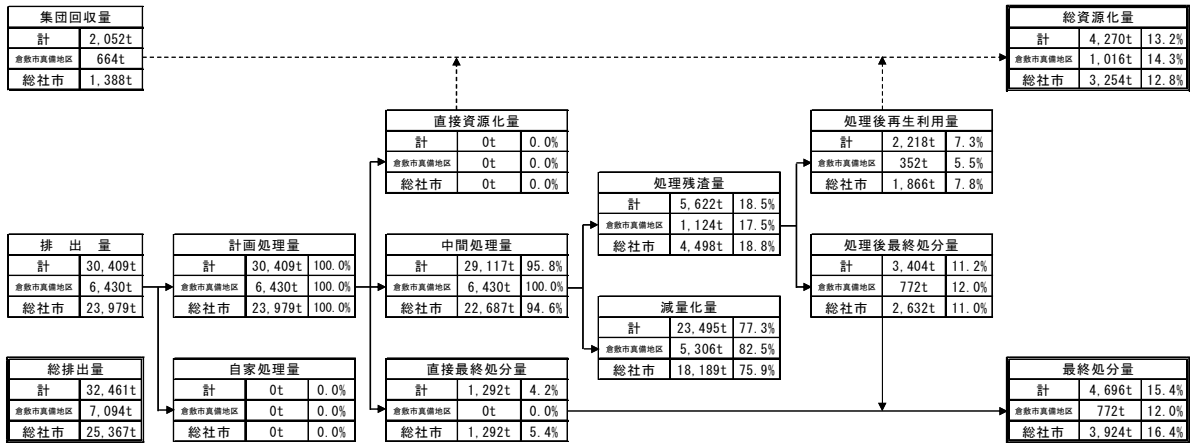
排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh] 及び熱利用量 [単位：GJ]

減量化量：中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]



備考：総資源化量は総排出量に対する割合で、その他は排出量に対する割合である。

図2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和7年度）

### 3 施策の内容

#### (1) 生活系ごみの発生抑制、再使用の推進

##### ア 有料化等

有料化等に関して、表2に示す施策を添加しているが、両市での対応が異なっていることから、今後は排出量の削減、分別の徹底、処理経費負担の公平化の観点や住民の理解度を考慮しながら、現在の制度の充実や事業系ごみ処理手数料のあり方について検討し、方針を定めるものとする。

表2 有料化等の状況（平成30年度）

	倉敷市（ディスプレイ方式）	総社市（有料化方式）
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定袋（可燃・不燃） 45ℓ/8.6円、20ℓ/7.6円</li> <li>・直接持込 30円/10kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定袋（可燃・不燃） 45ℓ/23円、30ℓ/14円、20ℓ/9円 10ℓ/5円</li> <li>・粗大ごみ処理券（品目・重量別） 200円、600円、1,000円</li> </ul>

備考：ディスプレイ方式は指定袋ではあるが袋の料金にごみ処理等の経費を含まない方式

##### イ 環境教育、普及啓発、助成

環境問題に取り組む特定非営利活動（NPO）法人等の関係団体と連携、協働することで、環境・廃棄物問題に対する取り組みを促進する。

##### ・環境教育

環境教育に関しては、表3に示す施策を展開している。

表3 環境教育に関する施策

	倉敷市	総社市
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの自由研究課題の提供と表彰</li> <li>・優良・優秀な事業所の表彰</li> <li>・施設見学会</li> <li>・環境教育メニューの提供</li> <li>・イベント・学習会での講座</li> <li>・出前講座の推進</li> <li>・ごみトーク（意見交換会の開催）</li> <li>・企業見学企画・紹介</li> <li>・環境副読本の作成</li> <li>・環境家計簿（ごみ版）の作成</li> <li>・リサイクル研修・体験講座</li> <li>・エコクッキングの励行</li> <li>・事業所研修の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での環境教育の継続・強化</li> <li>・環境講演会の開催</li> <li>・出前講座の活用</li> </ul>

・普及啓発情報提供

普及啓発情報提供に関しては、表4に示す施策を展開している。

表4 普及啓発情報提供に関する施策

	倉敷市	総社市
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル推進センターを拠点とした啓発</li> <li>・広報誌による情報提供、啓発の充実拡大</li> <li>・暮らしとごみ展の開催</li> <li>・リサイクルフェアの開催</li> <li>・ごみガイドブック、ハンドブックの作成・配布</li> <li>・インターネットによる情報提供</li> <li>・清掃指導員の配置継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象にしたごみ減量・リサイクル推進ポスターコンクールの実施</li> </ul>

・助成

助成に関しては、表5に示す施策を展開している。

表5 助成に関する施策

	倉敷市	総社市
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物の集団回収に対して奨励金を出す</li> <li>・生ごみ処理容器購入補助事業の推進</li> <li>・ごみ減量化協力団体報奨金制度の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を対象に環境教育事業の補助金を助成する。</li> <li>・生ごみ処理容器設置補助制度の推進</li> </ul>

ウ 排出抑制

- ・排出抑制アイデアの募集
- ・ごみステーションでの目標の見える化
- ・水切りの徹底
- ・マイバッグ・マイ箸運動の推進
- ・不要品活用システムの拡充
- ・食品残渣の削減と「おかやま3010運動」の協力の呼びかけ
- ・使い捨て品の使用抑制



## エ 再資源化

- ・リサイクルに関するアイデアの募集
- ・分別徹底の推進
- ・庁用品、公共関与事業における再生品・環境物品の使用促進
- ・剪定枝等資源化支援事業の検討
- ・ペットボトル回収の充実
- ・常設リサイクルステーションの設置
- ・廃食用油燃料化事業の拡大

## オ リユース

- ・倉敷市家庭用品再利用銀行への支援
- ・リユースカップ等の推進

### (2) 事業系ごみの排出抑制、再使用の推進

- ・発生源における排出抑制の推進
- ・過剰包装の抑制推進
- ・流通用容器廃棄物の排出抑制推進
- ・使い捨て品の使用抑制
- ・再生品の使用促進
- ・食品残渣の削減と「おかやま3010運動」の協力の呼びかけ
- ・一般廃棄物減量化計画書の提出指導
- ・事業系一般廃棄物のマニフェスト制度の創設
- ・事業系紙類のリサイクル推進
- ・事業系「木くず」「食品残渣」のリサイクル推進
- ・事業系びん類の搬入停止

### (3) 処理体制

#### ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表5のとおりである。

可燃ごみ及び可燃性粗大ごみは吉備路クリーンセンター焼却施設にて焼却処理を行う。その他のごみについては分別収集の上、粗大ごみ・不燃ごみ・資源ごみ中の缶類は吉備路クリーンセンター不燃ごみ処理施設で資源化処理を行い、資源回収を行うこととしている。

表 6 生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成30年度)				今 後 (令和7年度)						
分別区分	処理方法	処理施設等		分別区分	処理方法	処理施設等				
		一次処理	二次処理			一次処理	二次処理			
可燃ごみ	焼却	焼却施設	焼却残渣：埋立処分 金属類：資源化	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	3,455	倉敷市	3,662
				真備地区			真備地区	422		
				総社市			総社市	794		
				合計			合計	14,518		
粗大ごみ	破碎・選別後 焼却・資源化	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	不燃ごみ 処理施設	資源化	倉敷市	346	倉敷市	422
				真備地区			真備地区	766		
				総社市			総社市	794		
				合計			合計	1,216		
不燃ごみ	破碎	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	116	倉敷市	115
				真備地区			真備地区	1,601		
				総社市			総社市	1,601		
				合計			合計	1,716		
缶類	選別 圧縮	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	8	倉敷市	13
				真備地区			真備地区	90		
				総社市			総社市	103		
				合計			合計	127		
びん類	リサイクル	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	63	倉敷市	372
				真備地区			真備地区	306		
				総社市			総社市	369		
				合計			合計	499		
紙類	一時 保管	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	8	倉敷市	8
				真備地区			真備地区	675		
				総社市			総社市	683		
				合計			合計	29		
ペットボトル他	リサイクル	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	22	倉敷市	79
				真備地区			真備地区	73		
				総社市			総社市	95		
				合計			合計	108		
トレイ・古布	一時 保管	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	25	倉敷市	37
				真備地区			真備地区	117		
				総社市			総社市	154		
				合計			合計	1		
電池・蛍光灯類	一時 保管	焼却施設	可燃物：焼却 不燃物：埋立処分	倉敷市	資源ごみ	資源化	倉敷市	1	倉敷市	1
				真備地区			真備地区	2		
				総社市			総社市	2		
				合計			合計	3		

#### イ 事業系の一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系ごみについては、生活系ごみに準じて処理を行っており、今後もこの体制を維持する。

ただし、事業系ごみの発生抑制、資源化促進を目的とした事業者への指導、情報提供を推進する。また、大量排出事業者に対して減量化計画の作成及び履行を要請する。

#### ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状は、産業廃棄物の処理を行っておらず、将来的にも受け入れ及び処理を行う計画はない。

#### エ 今後の処理体制の要点

◇老朽化の著しい吉備路クリーンセンターを延命化することで、将来的な維持補修コストの削減と機能回復を目指す。

#### (4) 処理施設の整備

(3) で示した処理体制で処理を行うため、表7のとおり必要な整備を行う。

表7 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置 予定地	事業期間
1	【リサイクルセンター】 吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設 【ストックヤード】 吉備路クリーンセンター ストックヤード カレットヤード	廃棄物処理施設（吉備路クリーンセンター）の基幹的設備改良事業（交付率 1/3）	28 t / 日	倉敷市 真備町	R3~R5
2	【ごみ焼却施設】 吉備路クリーンセンター 焼却施設	廃棄物処理施設（吉備路クリーンセンター）の基幹的設備改良事業（交付率 1/2）	180 t / 日 (90 t / 24 h × 2 炉)	倉敷市 真備町	R3~R5

(整備理由)

事業番号 1 施設の基幹的設備を改良することにより、施設の稼働に必要なエネルギー消費に伴って排出される二酸化炭素量を削減するとともに、施設の延命化を図る。

事業番号 2 施設の基幹的設備を改良することにより、施設の稼働に必要なエネルギー消費に伴って排出される二酸化炭素量を削減するとともに、施設の延命化を図る。

## (5) 施設整備に関する計画支援事業

(4) の施設整備に先立ち、表 8 のとおり計画支援事業を行う。

表 8 施設整備に関する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	吉備路クリーンセンター（事業番号 1 及び 2）に関する長寿命化総合計画策定支援業務	長寿命化総合計画策定	R1
32	吉備路クリーンセンター（事業番号 1 及び 2）基幹的設備改良事業発注支援業務	発注仕様書等作成	R1

## (6) その他の施策

### ア 廃家電・使用済み小型家電のリサイクルに関する普及啓発

#### ①家電リサイクル

・拡大生産者責任の原則に沿って、販売店等を通じた回収の推進を図る。

#### ②使用済み小型家電リサイクル

・ピックアップ方式により、小型家電の回収を推進することで、減量化・資源化の促進を図る。

#### ③使用済み乾電池

・分別回収された使用済み乾電池は、広域認定を受けている全国都市清掃会議ルートにて処理処分を行っているが、今後も大気・水質・土壌への水銀流出等がないように適正な処理を継続する。

### イ 不法投棄の対策

不法投棄に関しては、住民や事業者に対して広報誌や不法投棄禁止看板の設置等により啓発を行うとともに、定期的な巡回パトロールや投棄物の回収等を行い不法投棄の防止を図る。

### ウ 災害廃棄物の対策

災害廃棄物を迅速かつ適正に処理を推進するため、国がさだめた災害廃棄物対策指針や自治体の地域防災計画及び災害廃棄物処理計画に基づいて対応を図る。

災害廃棄物は、吉備路クリーンセンターや総社市一般廃棄物最終処分場で対応するが、地域だけでの対応が困難になることが考えられるため、県及び周辺自治体、民間事業者等との連携を図り、緊急時の円滑な協力・処理体制を確保する。「災害時における廃棄物処理の協力に関する協定」等に基づいて、関係機関等と連携を図りながら収集、運搬、処理、処分等を迅速に行うための処理体制を構築する。

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて岡山県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間の終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で速やかに計画の事後評価、目標の達成状況の評価を行う。

また、結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

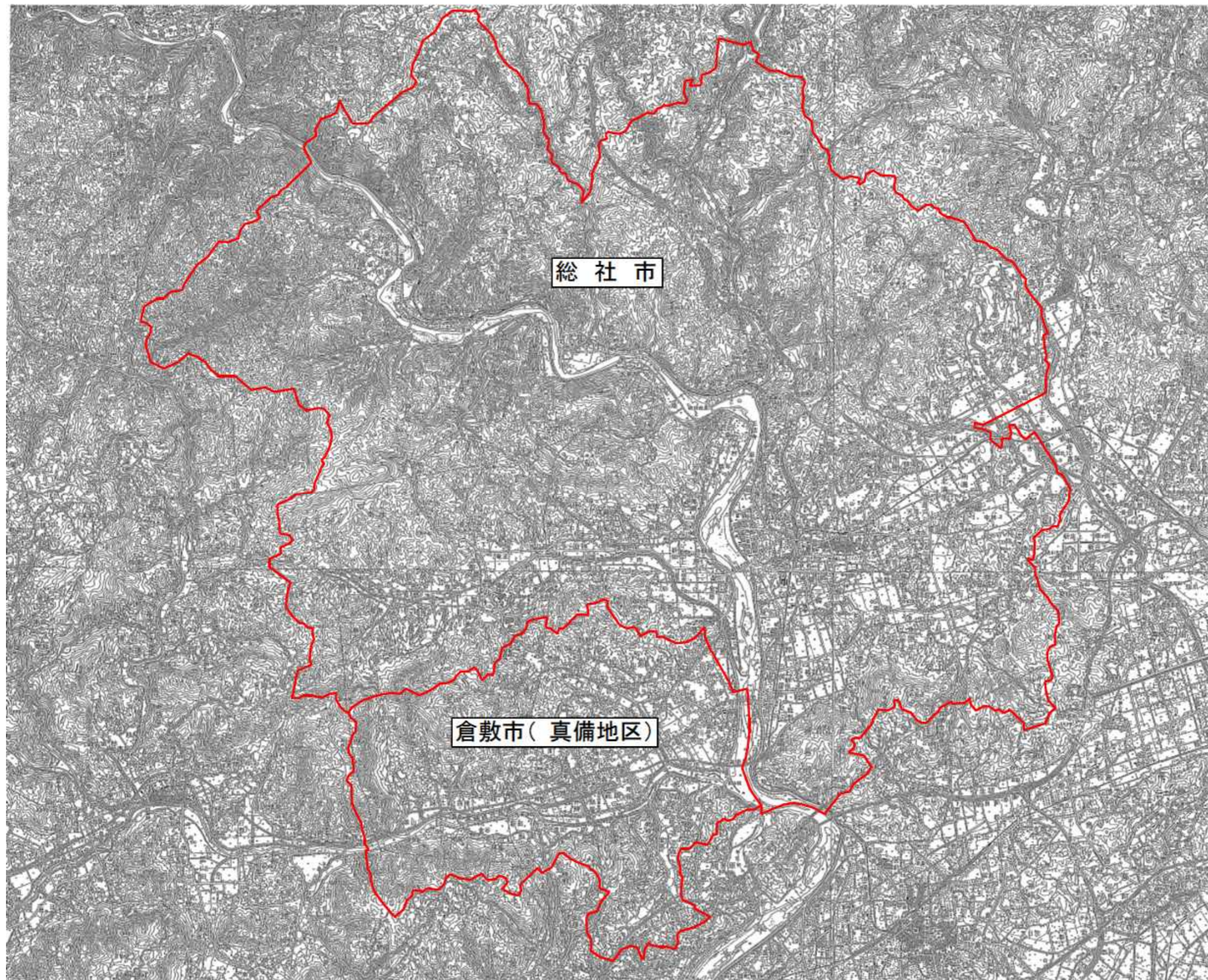
なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

## 添 付 書 類

1. 対象地域図
2. 目標の設定に関するグラフ等（トレンドグラフ）
3. 現有処理施設の概要
4. 様式1 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 1  
（添付資料）
  - ・ 地域内の施設の現況と予定（位置図）
  - ・ 廃棄物処理施設が所在する地域のハザードマップ
5. 様式2 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 2
6. 様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

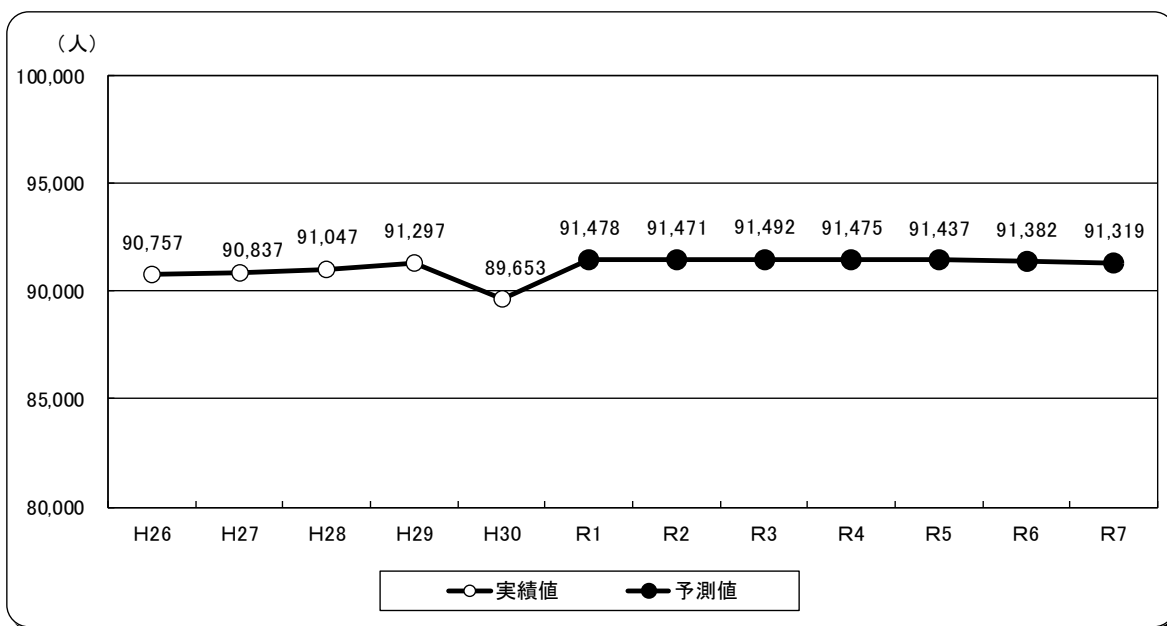


1 対象地域図

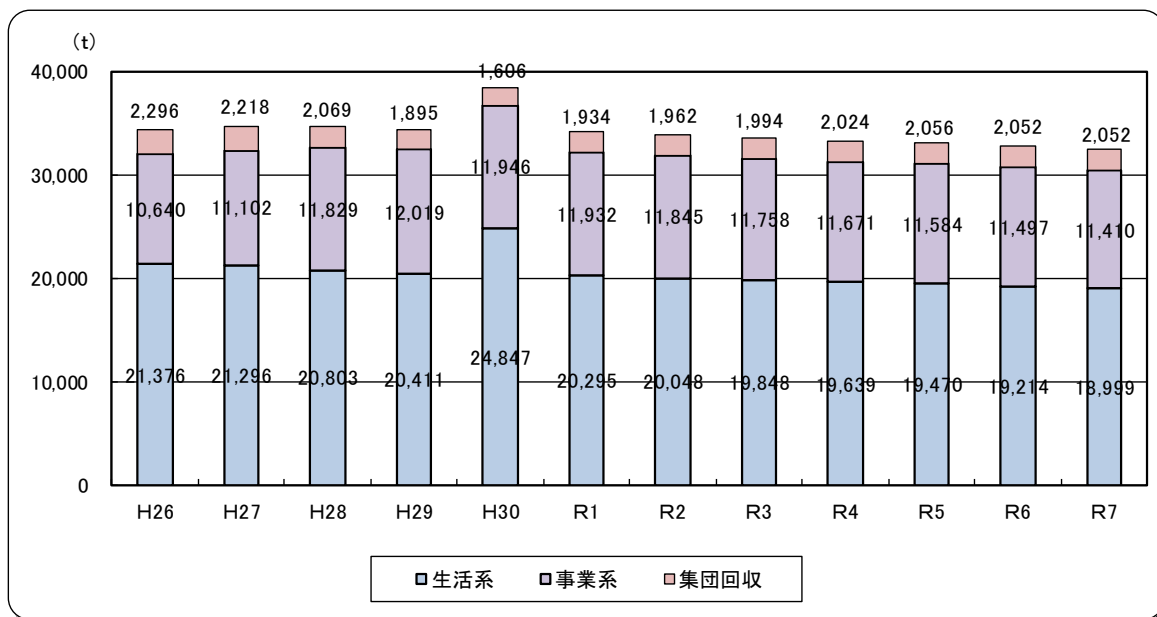




## 2 目標の設定に関するグラフ等

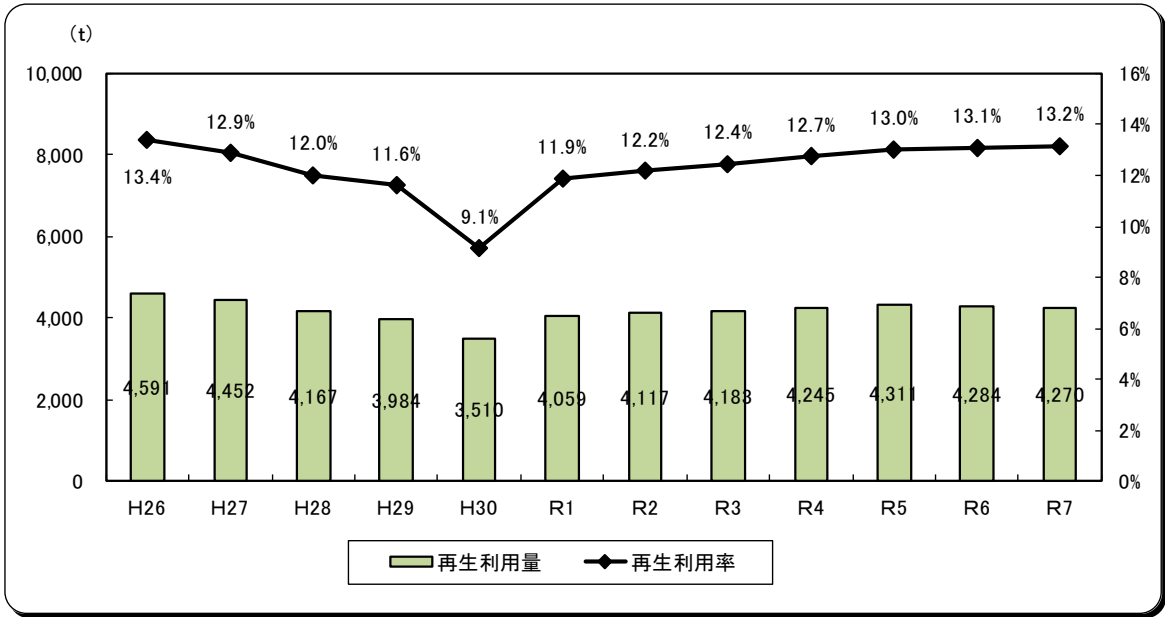


添付資料図-1 人口トレンドグラフ

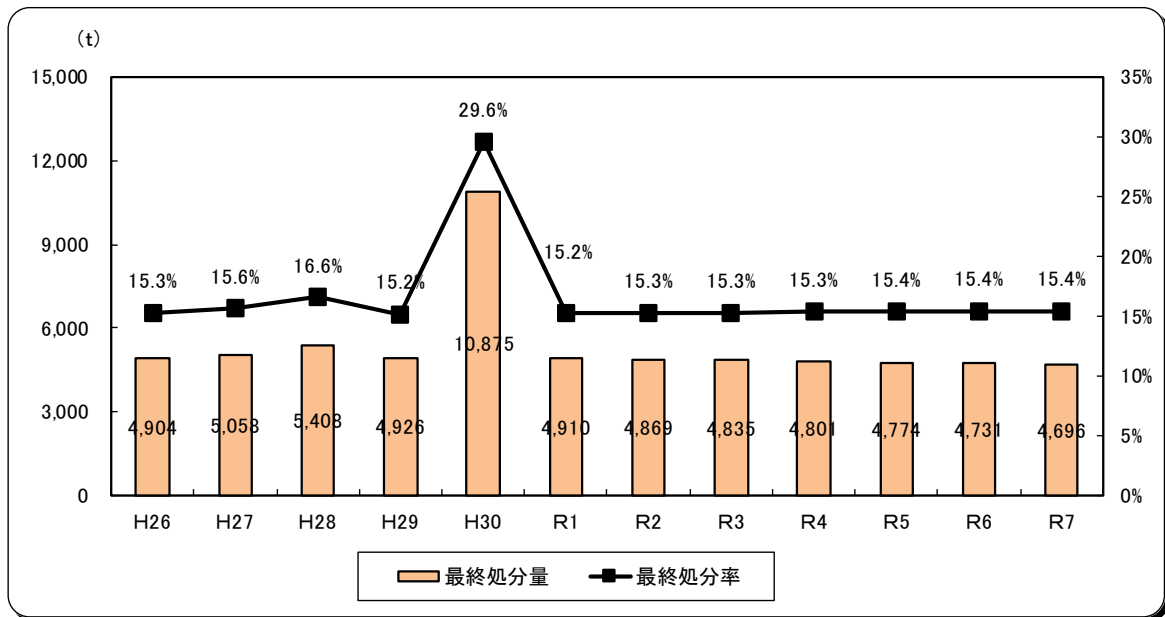


添付資料図-2 ごみ排出量トレンドグラフ





添付資料図-3 再生利用量トレンドグラフ



添付資料図-4 最終処分量トレンドグラフ

### 3 現有処理施設の概要

施設名称	吉備路クリーンセンター 焼却施設
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	180t/日(90t/24h×2基)
処理方式	全連続燃焼式(流動床式焼却炉)
燃焼ガス冷却	廃熱ボイラ・水噴射併用
排ガス処理	バグフィルタ・乾式併用方式有害ガス除去・無触媒脱硝
余熱利用	燃焼用・白煙防止用空気加温
通風	平衡通風方式
灰出し	焼却灰:磁選+ピット貯留 ダスト:薬剤処理+ピット貯留
煙突	59m
施設名称	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	28t/日(不燃:28t/5h)
破 碎	不燃:前処理破砕機+回転式破砕機 可燃:二軸せん断式破砕機
選 別	不燃:磁選機・粒度選別機・アルミ選別機
貯 留	不燃物:パンカ方式 鉄 類:圧縮貯留 アルミ類:圧縮貯留
施設名称	吉備路クリーンセンター ストックヤード カレットヤード
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	10t/日
対 象 物	びん類、紙類、ペットボトル他、トレイ・古布、電池・蛍光灯類
選 別	手選別

施設名称	アクアセンター吉備路
所在地	岡山県総社市窪木1101
敷地面積	14,417㎡
建築面積	1,812㎡
竣工年月	平成19年1月
処理能力	90kl/日
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理方式(浄化槽汚泥対応型)+活性炭
放 流 先	前川
前 処 理	前脱水
汚 泥 処 理	脱水・場外処分
汚 泥 処 分	民間委託
脱 臭	アルカリ洗浄+活性炭

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 1 (令和元年度)

1 地域の概要		(1) 地域名		(2) 地域内人口		(3) 地域面積		256.09 km <sup>2</sup>	
		倉敷市 (真備地区) ・ 総社地域		89,653 人		面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 (山村)		半島 過疎 その他	
(4) 構成市町村等名		倉敷市、総社市及び総社広域環境施設組合		人口					
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況		組合を構成する市町村：倉敷市 (真備地区)、総社市		設立 (予定) 年月日：平成17年7月14日					
含まれる場合、当該組合の状況		設立されていない場合、今後の見通し：—							

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)						目 標
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和7年度	
排 出 量	事業系	10,640	11,102	11,829	12,019	11,946	11,410 (H30比 -4.5%)	
	1 事業所当たりの排出量 (ト/事業所)	4	4	5	5	5	5	
	総排出量 (トン)	21,376	21,296	20,803	20,411	24,847	18,999 (H30比 -23.5%)	
	1人当たりの排出量 (kg/人)	236	234	228	224	277	208	
合 計	32,016	32,398	32,632	32,430	36,793	30,409 (H30比 -17.4%)		
再 生 利 用 量	直接資源化量 (トン)	0 (%)	0 (%)	0 (%)	0 (%)	0 (%)	0 (0.0%)	
熱 回 収 量	総資源化量 (トン)	4,591 (13.4%)	4,452 (12.9%)	4,167 (12.0%)	3,984 (11.6%)	3,510 (9.1%)	4,270 (13.2%)	
中間処理による減量化量	熱回収量 (年間の発電力量 MWh)	560	545	563	601	621	565 MWh	
最 終 処 分 量	減量化量 (中間処理前後の差 トン)	24,817 (78%)	25,106 (77%)	25,126 (77%)	25,415 (78%)	24,014 (65%)	23,495 (77.3%)	
	埋立最終処分量 (トン)	4,904 (15%)	5,058 (16%)	5,408 (17%)	4,926 (15%)	10,875 (30%)	4,696 (15.4%)	

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。(添付書類-2)

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	備考
リサイクルセンター	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設	総社広域 環境施設組合	破碎、磁選、粒度選別 アルミ選別、圧縮貯留	28t/日	H9.3	未定	未定	
ストックヤード	吉備路クリーンセンター ストックヤード カレットヤード	総社広域 環境施設組合	手選別、一時保管 ストック・カレットヤード	10t/日 1352.52㎡	H9.3	未定	未定	
ごみ焼却施設	吉備路クリーンセンター 焼却施設	総社広域 環境施設組合	全連続式流動床式焼却炉	180t/日	H9.3	未定	未定	
し尿処理施設	アクアセンター吉備路	総社広域 環境施設組合	膜分離高負荷脱窒素 処理方式 (浄化槽対応型)	90kl/日	H19.1	未定	未定	

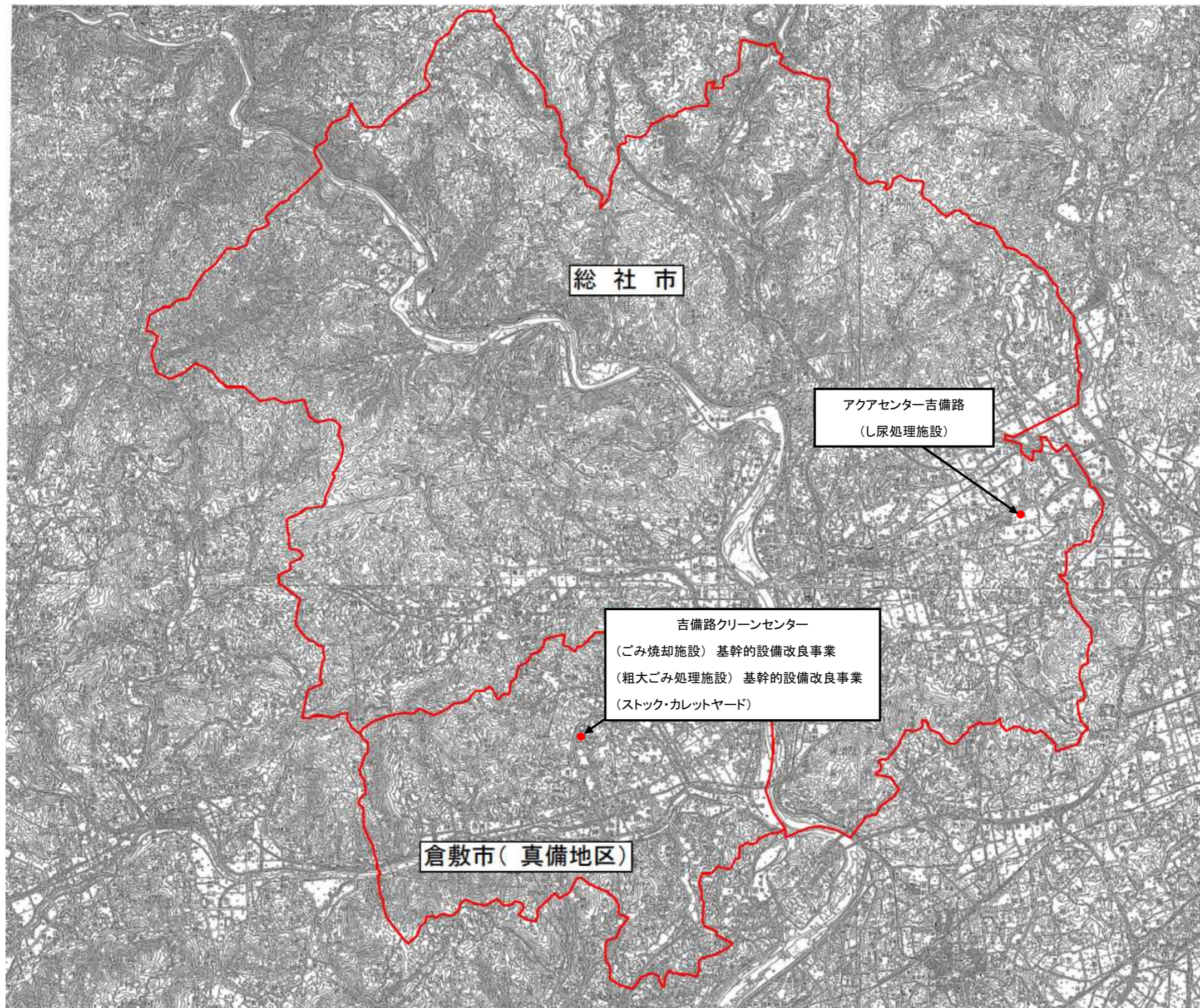
※計画地域内の施設の状況(現況)を地図上に示したものを添付する。(添付資料-2)

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	焼却施設の有 無及び解体施設の名称	備考
リサイクルセンター	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設	総社広域 環境施設組合	破碎、磁選、粒度選別 アルミ選別、圧縮貯留	28t/日	R6.3	施設の延命化及びCO2 排出量削減のための基 幹的設備改良	無	
ストックヤード	吉備路クリーンセンター ストックヤード カレットヤード	総社広域 環境施設組合	手選別、一時保管 ストック・カレットヤード	10t/日 1352.52㎡	R6.3	施設の延命化及びCO2 排出量削減のための基 幹的設備改良	無	
ごみ処理焼却施設	吉備路クリーンセンター 焼却施設	総社広域 環境施設組合	全連続式流動床式焼却炉	180t/日	R6.3	施設の延命化及びCO2 排出量削減のための基 幹的設備改良	無	



様式1の添付資料 地域内の施設の現況と予定（位置図）



施設名称	吉備路クリーンセンター 焼却施設
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	180t/日(90t/24h×2基)
処理方式	全連続燃焼式(流動床式焼却炉)
燃焼ガス冷却	廃熱ボイラ・水噴射併用
排ガス処理	バグフィルタ・乾式併用方式有害ガス除去・無触媒脱硝
余熱利用	燃焼用・白煙防止用空気加温
通風	平衡通風方式
灰出し	焼却灰:磁選+ピット貯留 ダスト:薬剤処理+ピット貯留
煙突	59m

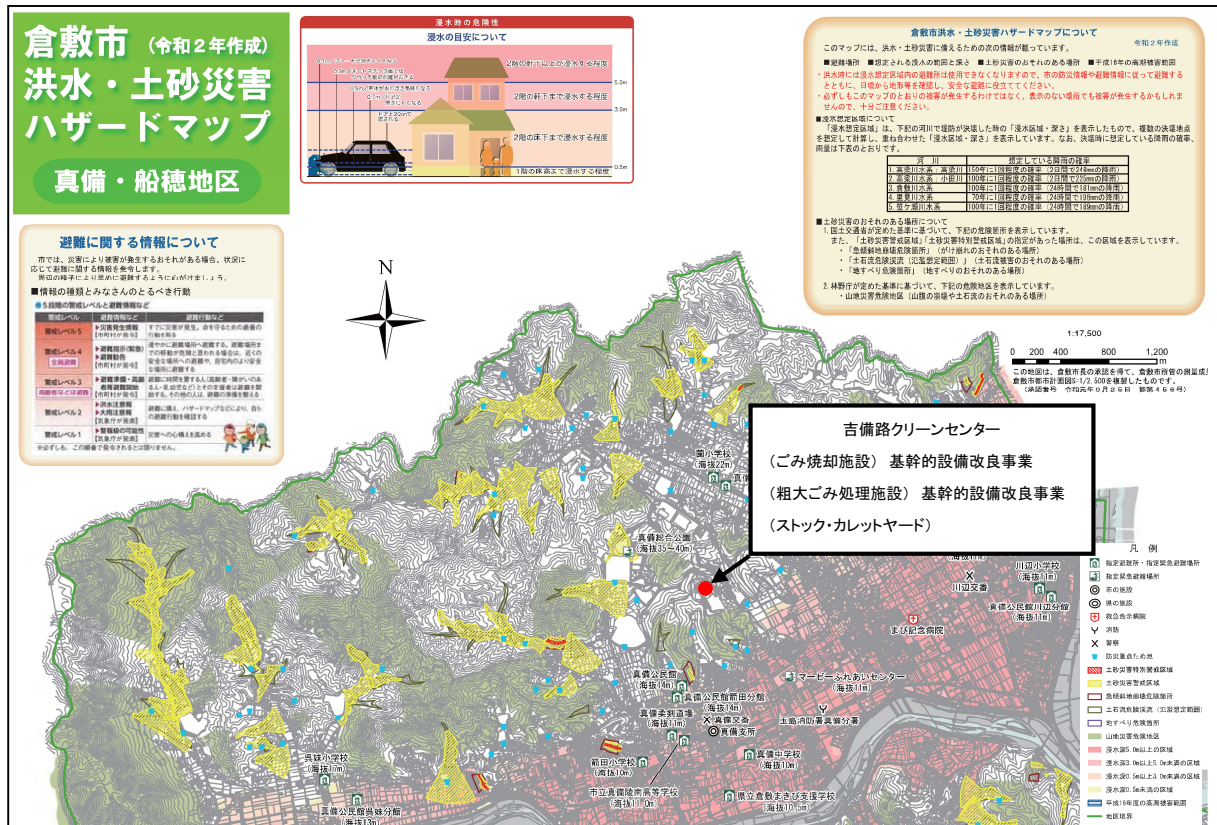
施設名称	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	28t/日(不燃:28t/5h)
破砕	不燃:前処理破砕機+回転式破砕機 可燃:二軸せん断式破砕機
選別	不燃:磁選機・粒度選別機・アルミ選別機
貯留	不燃物:バンカ方式 鉄類:圧縮貯留 アルミ類:圧縮貯留

施設名称	吉備路クリーンセンター ストックヤード カレットヤード
所在地	岡山県倉敷市真備町箭田481
敷地面積	15,000㎡
建築面積	6,300㎡
竣工年月	平成9年3月
処理能力	10t/日
対象物	びん類、紙類、ペットボトル他、トレイ・古布、電池・蛍光灯類
選別	手選別

施設名称	アクアセンター吉備路
所在地	岡山県総社市窪木1101
敷地面積	14,417㎡
建築面積	1,812㎡
竣工年月	平成19年1月
処理能力	90kl/日
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理方式(浄化槽汚泥対応型)+活性炭
放流先	前川
前処理	前脱水
汚泥処理	脱水・場外処分
汚泥処分	民間委託
脱臭	アルカリ洗浄+活性炭



# 様式1の添付資料 廃棄物処理施設が所在する地域のハザードマップ



**【アクアセンター吉備路の浸水対策について】**

アクアセンター吉備路においては、床面は、周囲の地盤高より約2m程度嵩上げしており、中央監視装置や高圧受電設備については、浸水高以上には設置している。また、土嚢や着脱可能な止水フェンス（60cm高）を準備する。

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 2 (令和元年度)

事業種別	事業名称	事業番号	事業主体名称	規模	事業期間 交付開始 終了	総事業費 (千円)						交付対象事業費 (千円)						備考
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
○ごみ処理に関する事業						4,257,330.0		341,082.5	2,288,242.0	1,628,005.5		3,712,290.0		341,080.0	1,837,257.0	1,533,953.0		
	巨勢路クリーンセンター(不燃ごみ処理施設)の基幹的設備改良事業	1	株式会社 環球施設組合	28 t/日	R3 R5	844,200.5		43,102.4	438,874.7	362,223.4		736,919.0		43,101.0	348,052.0	345,766.0		
	巨勢路クリーンセンター(焼却施設)の基幹的設備改良事業	2	株式会社 環球施設組合	180 t/日	R3 R5	3,413,129.5		297,980.1	1,849,367.3	1,265,782.1		2,975,371.0		297,979.0	1,489,205.0	1,188,187.0		
○長寿命化総合計画策定支援事業						2,805.0						2,805.0						
	事業番号1、2に対する支援事業	31	株式会社 環球施設組合		RI	2,805.0						2,805.0						
○施設整備に関する計画支援に関する事業						3,740.0						3,740.0						
	事業番号1、2に対する支援事業	32	株式会社 環球施設組合		RI	3,740.0						3,740.0						
	合計					4,263,875.0		341,082.5	2,288,242.0	1,628,005.5		3,718,835.0		341,080.0	1,837,257.0	1,533,953.0		

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	施策番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間開始	事業期間終了	交付金必要の否	事業計画						備考
								令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化等	ごみ減量化を目的とした経済的インセンティブを働かせるため、有料化についての検討と実施	倉敷市総社市	継続			有料化等に関する検討						
	12	関係団体との協働	NPO法人等の関係団体と連携、協働を行うことによる環境、廃棄物問題への取組みについて継続、充実	倉敷市総社市	継続			関係団体との協働についての継続・充実						
	13	環境教育	市民各年齢層に応じた環境教育の実施や、環境教育事業に関する助成等の継続と充実	倉敷市総社市	継続			環境教育の充実						
	14	普及啓発	市民のごみ減量、リサイクル推進の意識向上等に向けた啓発事業の継続と充実	倉敷市総社市	継続			普及啓発、情報提供の充実						
	15	助成	奨励金を出す等の支援・助成による集団回収活動の促進	倉敷市総社市	継続			環境教育の充実						
	16	排出抑制	マイバグの奨励や堆肥化容器購入助成などの市民への普及と、過剰包装抑制や食品ロス対策などの事業者への啓発活動の継続と充実	倉敷市総社市	継続			マイバグ運動の推進や過剰包装抑制等、事業の継続						
	17	再資源化	資源ごみの分別徹底や再生品の情報提供等、普及啓発活動の継続	倉敷市総社市	継続			普及啓発活動の推進						
	18	リユース	倉敷市家庭用品再利用銀行への支援やリユースの推進	倉敷市総社市	継続			普及啓発活動の推進						
	19	事業者への普及啓発	多量排出事業者等に対して指導体制の強化や、事業者へのごみ減量・リサイクル情報の提供	倉敷市総社市	継続			普及啓発活動の推進						
処理施設の整備に関するもの	1	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設 ストックヤード カレットヤード	吉備路クリーンセンター（不燃ごみ処理施設）の基幹的設備改良事業	組合	R3	R5	○	改良工事						
	2	吉備路クリーンセンター 焼却施設	吉備路クリーンセンター（焼却施設）の基幹的設備改良事業	組合	R3	R5	○	改良工事						
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1及び2の長寿命化 総合計画策定支援	長寿命化総合計画	組合	R1	R1	○	長寿命化総合計画策定						関連事業1
	32	1及び2の計画支援	発注仕様書作成	組合	R1	R1	○	発注仕様書等作成						関連事業2
その他	41	家電リサイクル	販売店等を通じた回収の推進	倉敷市総社市	継続			回収対策の推進						
	42	使用済み小型家電リサイクル	ピックアップ方式による小型家電の回収の推進	組合	継続			回収対策の推進						
	43	使用済み乾電池	処理委託による適正処理の継続	倉敷市総社市	継続			回収後における適正処理の継続						
	44	不法投棄対策	関係機関との連携によるパトロールの強化や、看板の設置等の不法投棄対策の強化	倉敷市総社市	継続			不法投棄対策の強化						
	45	災害廃棄物の対策	災害廃棄物対策指針や、災害廃棄物処理計画に則った災害廃棄物の処理体制の充実	倉敷市総社市	継続			災害廃棄物の処理体制の充実						



## そ の 他 参 考 資 料

1. 参考資料様式 1
2. 参考資料様式 2
3. 参考資料様式 7

## 施設概要（マテリアルリサイクル施設系）

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体	総社広域環境施設組合
(2) 施設名称	吉備路クリーンセンター 不燃ごみ処理施設 ストックヤード カレットヤード (基幹的設備改良事業)
(3) 工期	令和3年度 ～ 令和5年度
(4) 施設規模	処理能力 28 t /日
(5) 処理方式	破碎処理、磁選、粒度選別、アルミ選別、圧縮貯留、一時保管
(6) 地域計画内の役割	1. 不燃ごみを破碎選別することで最終処分量の減量化に寄与する。 2. 資源回収による再生利用率の向上を図る。 3. 二酸化炭素削減量3.0%以上
(7) 廃焼却施設 解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

## 「ストックヤード」を整備する場合

(8) ストック 対象物	びん類、紙類、ペットボトル、トレイ・古布、電池・蛍光管類
-----------------	------------------------------

## 「容器舗装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装 リサイクル推進 施設の内訳	
------------------------------	--

## 「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラグの 利用計画	
-------------------	--

(11) 事業計画額	844,201千円 (うち、交付対象事業費736,919千円)
------------	------------------------------------

## 施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体	総社広域環境施設組合		
(2) 施設名称	吉備路クリーンセンター 焼却施設（基幹的設備改良事業）		
(3) 工期	令和3年度 ～ 令和5年度		
(4) 施設規模	処理能力 180 t / 日 (90 t / 24 h × 2炉)		
(5) 形式及び 処理方式	全連続燃焼方式 流動床式		
(6) 余熱利用の 計画	1. 発電の有無	<input checked="" type="radio"/> (発電効率 0.7%)	無
	2. 熱回収の有無	<input checked="" type="radio"/> (熱利用率 3.5%)	無
(7) 地域計画内の 役割	1. 可燃ごみを焼却処理することで最終処分量の減量化に寄与する。 2. 熱回収によりエネルギーの有効利用を図り、場内利用及び場外への温水供給に努める。 3. 二酸化炭素削減量3.0%以上		
(8) 廃焼却施設 解体工事の有無	有	<input type="radio"/>	無

「ごみ燃料化施設」を整備する場合

(9) 燃料の 有効利用	
-----------------	--

「メタンガス化施設」を整備する場合

(10) バイオガス 熱利用率	Nm <sup>3</sup> /ごみ t
(11) バイオガスの 利用計画	

(12) 事業計画額	3,413,130千円 (うち、交付対象事業費 2,975,371千円)
------------	---

## 計画策定支援概要

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体名	総社広域環境施設組合	
(2) 事業目的	吉備路クリーンセンター基幹的設備改良事業のため	
(3) 事業名称	吉備路クリーンセンター施設 長寿命化事業に関する 長寿命化総合計画策定業務	吉備路クリーンセンター基幹的設 備改良事業発注支援業務
(4) 事業期間	令和元年度	令和元年度
(5) 事業概要	長寿命化総合計画策定	発注仕様書等作成
(6) 事業計画額	2,805千円	3,740千円